

科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	総合英語				学期	曜日	校時
英語名	Comprehensive English						
担当 教官名	川島 浩勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	後期	火曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>言語学習の柱の一つとして、発音練習を挙げることができる。本授業では、英語の子音に焦点を当てて、基礎的な発音訓練を行う。先ず、日本人が苦手と感じているミニマルペアー（KIN と KING の違い等）を利用して、識別能力を養い、それをベースにして、テープ教材等を用いて発音練習を行う。</p> <p>発音練習に加え、本授業では、英語の情報処理における直読直解（日本語に訳することなく、英語の語順に従って、情報を処理・理解していくこと）の能力の養成も図っていく。この演習では、1）英語母語話者が英語を自然に読むスピードで、単語・文を瞬時に処理・理解できるような訓練を行い、それをベースに、2）2～3分の長さの対話文を高速で読み、その詳細を的確に捉える訓練を行う。なお、1）、2）の演習では、自己分析の活動を重視し、自己分析シートを用い、処理・理解における困難点及びその理由（例えば、語彙不足）を明らかにしていく。</p>							
テキスト、教材等							
基本的にはプリントを使用し、必要に応じて購入する。							
対象学生	成績評価の方法			教官研究室			
Lc	出席状況・各種テスト・課題等によって総合的に評価する。						
授業計画							
<p>第1回：方針説明・基礎英語力診断テスト</p> <p>第2回：英語発音の重要性の確認ならび困難点の把握</p> <p>第3回：ミニマルペアー（子音）の全体的紹介とその聞き分け能力把握その1</p> <p>第4回：ミニマルペアー（子音）の全体的紹介とその聞き分け能力把握その2</p> <p>第5回：ミニマルペアー（子音）に関する発音能力の把握その1</p> <p>第6回：ミニマルペアー（子音）に関する発音能力の把握その2</p> <p>第7回：英語理解における直読直解の定義と英語学習におけるその重要性</p> <p>第8回：聴覚提示された（英語母語話者が話すテープ等から流れてくる）単語・文を聴き、瞬時に再生・書き取る訓練</p> <p>第9回：自己分析に基づき、聴覚提示された単語・文の処理・理解における困難点を明確にする。</p> <p>第10回：視覚提示された（教材提示装置により瞬時に提示される）単語・文を読み、瞬時に再生・書き取る訓練</p> <p>第11回：自己分析に基づき、視覚提示された単語・文の処理・理解における困難点の理解を明確にする。</p> <p>第12回：聴覚提示された（英語母語話者が話すテープ等から流れてくる）対話文を聴き、その詳細を理解する訓練</p> <p>第13回：自己分析に基づき、聴覚提示された対話文の処理・理解における困難点を明確にする。</p> <p>第14回：対話文を、付属テープのスピードで読み、その詳細を理解する訓練</p> <p>第15回：自己分析に基づき、付属テープのスピードで読んだ対話文の処理・理解における困難点を明確にする。</p>							